広報 横芝
この広報は各家庭にもれなく配布します
発行所・千葉県山武郡横芝 横芝町役場（電話）32・249・339

田は四倍・畑は二倍半
小作料基準額改正さる

農地法第二十一条第一項により、また、旧小作料が未だ効力を持っている（生きている）関係もあるので、今すぐ新旧何れか一つに決定するのは望ましくないと思はれる。

新旧小作料の何れをとるか、或は暫定的に中間小作料を定めるか、何れにせよ契約者双方が円満に話し合って解決されるよう農業委員会では希望している。

新旧小作料は別表のとおりで、水田では四倍強、畑では二・五倍強となっている。

定められている農地小作料の最高額の基準が改正され、本年九月一日から施行された。この基準額は本年度の生産者米価推定生産費などに基づいて定められたもので、本年度の小作料から適用されるものである。しかし今年度はすでに収穫期になったことでもあり、そのほか引続き八年以上外地にいた人については、更に七千円から一万円が加算される。

なお詳しいことは居住地の市町村役場か県援護課に照会して下さい。

旧新小作料基準額

級別	田の部 新	田の部 旧	畑の部 新	畑の部 旧
1	5,688円	1,410円	2,170円	861円
2	5,444	1,350	2,073	822
3	5,204	1,290	1,973	783
4	4,960	1,230	1,875	744
5	4,720	1,170	1,778	705
6	4,476	1,110	1,680	666
7	4,236	1,050	1,580	627
8	3,992	990	1,483	588
9	3,752	930	1,385	549
10	3,508	870	1,285	510
11	3,268	810	1,188	471
12	3,024	750	1,090	432
13	2,784	690	990	393
14	2,540	630	893	354
15	2,300	570	795	315

保育所保母児童数（昭和42年4月）

名称	保母	児童数 男	児童数 女	児童数 計
横芝保育所	2	13	22	35
上堺総保育所	4	30	38	68
大平保育所	3	19	19	38
フタバ保育園	6	60	45	105
計	15	122	124	246

引揚者へ特別交付金
二万円から十六万円

引揚者等に対する特別交付金に関する法律が、八月一日に公布、施行された。

この交付金は引揚者と引揚者の遺族、さらに引揚前になくなった人の遺族に対して支給されるもので、昭和四十五年三月三十一日までに、いま住んでいる市町村役場に手続きをすることになっている。

この特別交付金が支給される人とは、海外に一年以上生活の本拠を置いていた人で、昭和二十年八月十五日の終戦、または八月九日のソ連参戦によって内地に引揚げて来た人、引揚げる途中や、それ以後外地でなくなった人の遺族、または引揚げてから内地でなくなった人の遺族ということになっている。

このほか、内地に滞在中に終戦となり外地へもどれなくなった人、政府の命令などで内地へ引揚げた人、もと委任統治領であった南洋群島、もとオランダ領東印度諸島、イギリス領マレー半島、ボルネオの領域に住んでいた人、また引揚交換船で引揚げた人、フイリッピン諸島にいた人、満洲開拓民であった人々についても対象となる。

以上のように特別給付金を受けられる人の資格は幅の広いものですから、該当すると思はれる方は近くの市町村役場か、県庁の援護課へお問合せ下さい。

支給される金額は終戦時の年令によって、二万円から十六万円までとなっているが、遺族については七割額が支給されることになっている。

自衛隊へ体験入隊
横芝消防団員五十名

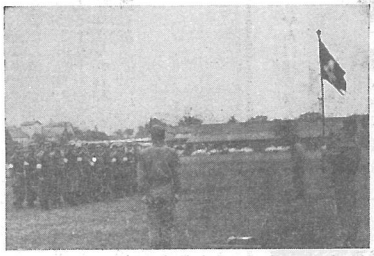
横芝町消防団では町内で初めて、自衛隊に生活体験入隊を実施した。

去る十月二十四日市原副団長以下五十名の団員が、椎名団長に引率されて下志津基地第一一九大隊に入隊した。二十六日まで三日間に亘って自衛隊員と同様の規律のもとに営内に起居し、専属の教官から毎日停止、行進等基礎的な各個訓練、小隊訓練、総合訓練を受けたが、規律ある緊張した生活には身が引しまる思いがしたという。そのほか隊内見学や音楽鑑賞などの一ときもあって、短かい期間ながら一同は深い感銘と体験を得て二十六日午後帰町した。

幹部団員は次のように体験談を語った。

今度の体験入隊は本部役員と部長の会議で規律、礼節、訓練の三項目を目標にして実施した訳です。事務担当者もなかなか大変だったと思いますが、団員の意気ごみもまた大変なもので当初の予定数をはるか上まわり五十一名という大量参加入隊という結果になった訳です。

それだけに訓練に対する気迫は見るべきものがあり、入隊の日は「右向け」の号令をかけられて左を向いたり「廻れ右」や「番号」のような簡単な動作にもまごついたりしたものが、除隊の日には自分で号令をかけられるようになりました。三日間という極めて短かい期間でしたが、大隊長、中隊長、小隊長始め各幹部及び隊員の皆様に指導をいただいた訓練は、予定目標の規律、礼節、動作特に敏活、節度という点については感目かもしれませんが、大分変って引きしまってきたものと自負いたしております。ここに自衛隊一一九大隊の皆様にお礼を申し上げると共に、この訓練の成果を消防横芝のため大いに役立てたいと考えております。


「かしら右ツ」固くなつて訓練を受ける体験入隊の消防団員

人権擁護委員に
佐久間義一さん

九月一日附で木戸台の佐久間義一さんが人権擁護委員に任命された。今までの長倉平山清さんと交代したもので現在横芝本町の中村淳さん、上堺東の平山喜代次さん、大総木戸台の佐久間義一さんの三人が委員になっている。

人権擁護委員は法務大臣から任命され、広く国民の基本的人権を守るために各市町村に置かれている委員で、地域社会で人権無視の行為が行はれているのを発見した場合、当事者に警告を発したり、検察庁に告発するなどの役目をしている。

議会だより

昭和四十二年九月十八日附、昭和四十二年九月二十二日定例議会が招集され次の議案を審議決定した。

第一号議題　昭和四十二年度横芝町一般会計補正予算について（有線会計への繰出金、保健衛生費、農業振興費、消防費の追加を主とし、才入才出それぞれ七六〇万六千円を追加するもの）

第二号議題　昭和四十二年度横芝町有線放送電話特別会計補正予算について（施設設備のための借入金償還に要する費額等追加により才入才出をそれぞれ一八〇万円追加するもの）

第三号議題　昭和四十二年度横芝町老人ホーム特別会計補正予算について（国庫負担金交付額と収容者の増加によって才入才出をそれぞれ七六二千円を追加したもの）

第四号議題　東金市ほか三町計算センター協議会の設置に関する協議について（東金市、大網白里町、九十九里町及び横芝町が電子計算機による計算事務を共同して管理しかつ執行することを目的とした組織体であって、その規約を承認するもの）

第五号議題　横芝町と松尾町との境界変更について（両総土地改良の施工により横芝町から排水路敷となった土地を松尾町へ、八田地域の八七三坪を横芝町に交換編入するもの）

元の町村
上堺村の巻（一）

旧上堺村役場（現上堺公民館）

昭和三十年に山武郡町村会で発行した山武地方誌によれば、

「本村は山武郡の最東端に位し、東は栗山川を距て匝瑳郡光町に接し、南は蓮沼村に連なり、西は大平村に境し、北は横芝町に隣接、東南は九十九里の海岸に面して、地勢は極めて平坦である。栗山川は上堺村の東部の海岸近くで二岐に分流し、一はそのまま海岸に注ぎ、一は海岸に平行して蓮沼村に流れている。

（注）そのまま海岸に注ぐ」とある水路は昭和六年の河川改修工事によって出来た新水路であり、「海岸に平行して蓮沼村に流れる」とあるのは、旧栗山川水路で現在正しくは廃川であり、栗山川ではない。）

交通事情は比較的恵まれず県道としては、横芝～屋形線、片貝～萩園線、一宮～飯岡線の三道があり、バスは横芝駅を起点にして、蓮沼村に到るズアップして来る。何年か前すでに故人になられた古老の口伝を頼りに、異説の創作で平将門等の物語りを「ふる里の話題」として掲載したところ、地元の研究家からきびしい御注意を戴いたことがある。

ふる里の話題

現在正しくは廃川であり、栗山川ではない。）

交通事情は比較的恵まれず県道としては、横芝～屋形線、一宮～飯岡線の三道があり、バスは横芝駅を起点にして、蓮沼村に到る路線が本村を縦断しているのみである。

本村の戸数は六〇二戸、人口三三六七名で、面積は八、三一一平方粁である」と述べている。

此の上堺村というと、屋形の地名に因む平良兼がクローズアップして来る。何年か前すでに故人になられた古老の口伝を頼りに、異説の創作で平将門等の物語りを「ふる里の話題」として掲載したところ、地元の研究家からきびしい御注意を戴いたことがある。

屋形という地名が出て来たが、此の上堺村は、屋形、北清水、新島の三大字で構成されているが、屋形の名称は前述の通りであり、北清水の地名は、産土様の近くに常時清水の湧き出ている井泉が有ったところから此の名称で呼ばれるようになったが、たまたま長生郡下に清水の地名が有ったので清の字を冠し、北清水と称したものである。また新島の地名の由来については詳らかでないが、往時三島、新堀という二つの村がありこれが合併して新島となったのである。

此の居城から栗山川を溯上して千葉氏の子孫が此の地に住居して海保氏を称していたがその末えいは今でも存している。徳川氏の頃、屋形は森川出羽守の所領となり、北清水は加藤伝之、新島は松田駒太郎等十名に分領されたことが史実に記されている。維新後には一時、大平村武野里と合併して戸長役場を置いたが、明治二十二年町村制実施の際武野里を分離して、屋形、新島、北清水を統合して一村とし、上総の堺であるところから上堺村と名称したものである。

上堺村と名称したものである。（次回は、合併時の財政農漁業状況、歴代村長等を掲載する。）

陸海空の自衛官募集

あらゆる新鋭機器を装備して、国家を防衛し、国民の安全を守っている自衛隊は、身心の練成、技術修得の職場と考えられます。

この自衛隊がいま隊員の募集を行なっています。

年令十八才以上二十五才までの日本人で前科のない者選考試験は中学校卒業程度で行はれます。

入隊すると国家公務員として待遇され、無電技術者、各自動車運転並びに整備の免許を取ることができます。

詳細は役場企画課にお問い合せ下さい。

投票率四〇%
横芝の参院補選

十一月五日執行された千葉県選出参議院議員補欠選挙の投票は、日曜日ではあったのちょうど畑作業に忙しい時期であったのと、一般の関心が極めて低調であったため、選挙管理委員会が心配していた横芝町の投票率は四〇・一三パーセントであった。

各候補者の得票数は次のとおりである。

小松七郎（共）　三〇七票
菅野儀作（自）　二〇〇八票
加瀬包男（社）　七一二票
長谷長次（無）　一二七票

楽しかった敬老会

十月六日・横小講堂で

去る十月六日第十四回横芝町敬老会が例年の通り横芝小学校々堂で開催された。

気遣はれた夜来の雨もやんで雲間から秋の日ざしさえ洩れるこの朝、今日を楽しみにしていた年寄達は早朝から迎えのバスで統々会場につめかけた。定刻までには四百人にも上る盛況で、社福委員、婦人会員、役場職員が大わらわの楽内、会場は立すいの余地もない程に混み合っていた。

午前十時から型通りの式次第が進められ、やがて保育所、幼児、小学校生徒の可愛いい余興が始まると年より達は目を細めて楽しんでいた。

正午には温かく、行届いた婦人会員の接待で昼食に舌づつみを打ち、午後からはまた引続いて婦人会始め各部落有志の歌と踊りに手拍子を合せからだをゆすって喜び楽しんだ。あるお年よりは「毎年何よりもこの日が楽しみで、もう七年も続けて出席しています」という、それ程うれし楽しい一日のようであった。

こうして午後三時すぎ年より達も主催側も尽きぬ名ごりを惜しみながら散会して家路についた。

今日を記念して、町社福協議会から八十五才以上九十才までの年より五十人に羽織下（チャンチャンコ）と、七十才以上の方全部に記念手拭と民生委員鈴木重雄さん寄附の鳥喰新田嘉瀬源真マッチが贈られ、町婦人会から八十才以上の方に湯呑みを立会海保重太郎、町青年団から当日出席の方に湯呑みがそれぞれ寄贈された。

また、金婚夫妻には恒例の県知事と県社福会長の色紙が贈呈された。今年度の金婚夫婦は次の十四組。

長倉　佐久間弥惣治　ともとき
〃　木戸台　大木　泰一
〃　吉川　亘　つねかえ
〃　長峰　三郎　たまえ
〃　石井　未知　みつとし
上町二　中村　文夫
東町二　若梅　清　きよくら
栗山二　斉藤源太郎　とめ
栗山一　鳥喰新田嘉瀬源真
新島新田秋山作太郎　立会　海保重太郎
南川岸　林田　次郎　フク
三島　伊藤辰次郎　はるしげ
〃　山本　弥作
〃　新島新田秋山作太郎　ハル

県知事からお祝品

九十才以上の高齢者へ

敬老の日～九月十五日～を記念して九十才以上のおとしよりに県知事からお祝いの陶製ポット一揃と町社会福祉協議会から座布団一枚が贈られた。

この日町長と社福会長が品物を持っておとしよりの家庭を訪問し、長寿のお祝いを申し上げると共にこの上とも壮健で長生きされるよう激励された。

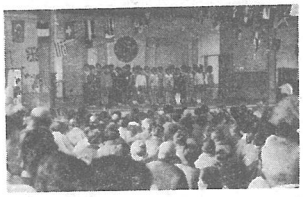
記念のお祝品を贈られたおとしよりは次の十六名の方々である。

曾根合　浅野　ふち　90才
長倉　加藤　せよ　90才
姥山　三枝　くら　93才
〃　伊藤清三郎　91才
〃　伊藤　志け　90才
中台　伊藤　てつ　91才
老人ホーム海保三年　92才
〃　福永　しづ　92才
本町一　土屋　えく　90才
両国　実川宇兵衛　93才
東町三　長野　タキ　91才
鳥喰沼　神子　よし　92才
屋形荒場実川　とめ　94才
立会　伊藤　つね　93才
南川岸　鹿島金太郎　95才
〃　小川　千賀　92才

中台老人クラブが竹ほうきを寄附

会員七十三名をもつ中台老人クラブ（会長伊藤佐重氏）では、活ばつなクラブ活動をしているが、何か世間のためになることをと、としよりらしく根気のいる手仕事として日頃たん精して作った竹ほうきが三十三本に達したので、去る十月十一日大総小学校と町の老人ホームにそれぞれ寄贈した。

可愛いい児童のおどり



舞台に見入るおとしより達

認証状伝達式を挙行

横芝ロータリークラブ

横芝ロータリークラブの認証状伝達式とその披露宴が去る十月八日午後横芝中学校体育館で盛大に行はれた。県知事代理初め隣接町村長ほか多数の来賓及び県内外のクラブ会員四百余名が一堂に会し、厳粛な挙式のあと祝宴に移り、光町虫生の鬼舞や剣舞、三絃合奏など珍らしい文化財のアトラクションに歓を尽し四時散会した。

これより先午前十時から東金女子高校生の音楽団が駅前通りから八田琴平神社までパレードを行い、式場でも楽団が伴奏の役をつとめふん囲気を盛り上げていた。

（上）ロータリークラブ認証状伝達式場
（下）東金女高生の音楽パレード

ロータリークラブというのは友愛、社会奉仕、国際親善を目的とし、同時に会員相互の親睦を図る実業家と専門職業人のクラブ組織で、一九〇五年（明治三十八年）アメリカの弁護士P、ハリスによってシカゴ市で創立され、一九二二年国際ロータリークラブと改称した。現在世界中に六十二万の会員を持ち約八千七百のクラブがある。各クラブは都市を単位として設けられ、会員は一業種一人が原則で毎週一回昼食会を開くことになっている。

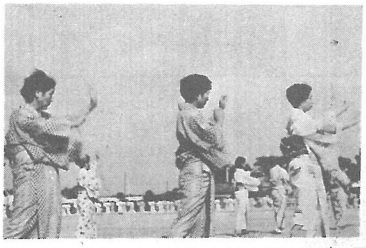
日本では一九二〇年（大正九年）東京に初めて支部が置かれたが、現在全国に八百余クラブ会員四万を数えている。横芝ロータリークラブは昭和四十一年十月創立され、事務所を千葉銀行横芝支店に置き、会長は中村淳氏、会員三十二名で、毎週月曜日に例会を開いている。

第一回横芝町体育祭

競技や踊りで楽しむ

秋空の大気をふるわして花火の音がひびき渡った。町の体育祭典である。

九月二十二日横芝中学校々庭で第一回横芝町体育祭が開催された。この日午前九時、参加選手六九〇余名、応援の観衆一、二〇〇を越える盛況裡に開会、先づ会長伊藤町長の挨拶に次いで審判長の指示、選手宣誓などがあって競技が開始された。

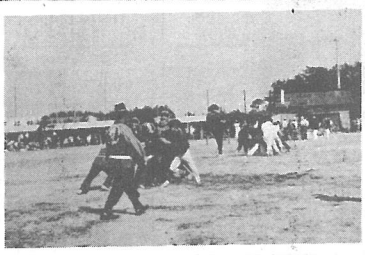


手ぶりあざやかに踊る婦人会員

計算競争、アベック競走、百米競走とプログラムの進行につれ、スピーカーから流れる行進曲と呼応して選手も観衆も、いよいよ高潮の度を加え応援のかん声は四周にこだました。

昼食後、呼びものの婦人会員の「おどり」は各部落思い思いに揃いのゆかたで、習いおぼえた手ぶり身ぶりも見ごとに民謡歌謡のかずかずを披露し大かっさいを拍した。

こうして綱引き、地区対抗リレーを最後に午後三時半、成功裡に競技の全種目を終了した。



混戦乱戦の棒たおし競争

続いて優勝旗、賞状賞品の授与ならびに、多年学校体育教科に精励し、また青少年の体育指導に尽力された加瀬高章、石田純の両先生に対し、体育祭会長の感謝状が贈呈された。

当日の競技成績は次のとおりである。

優勝チーム
一般の部　上堺地区
消防団の部　大総地区
婦人会の部　大総地区
青年団の部　大総地区
総合得点
一位　大総　一九五・五
二位　横芝　一八七・五
三位　上堺　一六七・〇
特別賞
二千メートル　荻原次朗
百メートル（十三秒）
横中　平山　清

靖国神社に昇殿参拝

戦没者慰霊祭にかえて

戦没者慰霊祭は例年町内で行っていたが、今年は趣向を変え遺族一同で靖国神社に参拝することになった。

秋も深まった去る十月十三日、戦没者遺族三一〇世帯の代表二二二名が、町長と社福協議会長に引率され、五台のバスに分乗して朝六時出発、九段の靖国神社に至り、十時昇殿、この町の英霊三八二柱に参拝してその冥福を祈った。

次いで千鳥ケ淵の無名戦士の墓に詣で、NHK放送センターも見学した。

帰途千葉市で県護国神社に昇殿参拝の後、一行は敬けんな一日を過しすがすがしい気分で午後六時無事帰町した。

どろぼう・スリがあなたを狙ってる

歳末防犯こころえ

あわただしい歳末が、また近づきました。十二月は一年間のしめくくりの月で、家庭、商店、会社などとどこでも気ぜはしくなります。農家ではお米の売上金、勤め人は賞与、商店は売出しの売上金など年末は大金がふところを膨らませます。それだけにどろぼうやスリが血まなこでスキをねらう絶好の稼ぎときでもあるのです。

盗難の予防

盗難で多いのは何といっても「アキス」です。アキス犯人でも家人が帰って来て見つかると、居直って強盗に早変りするというケースもあります。この予防には一見してるすだとわからないようにくふうすることが第一です。

遠出をするときは戸じまりを厳重にして、隣の家へひとこと頼むことを忘れないで下さい。頼まれた方も責任を持って協力してあげましょう。

スリへの用心

電車やバスの乗り降り、切符売場の混雑するようなところでスリは目を光らせています。商店やデパートの売場で夢中で品物をあさっていると犯人にスキを与えます。洋服の外ポケット、ハンドバッグは一番ねらわれるところです。人ごみの中でことさら身体に当って来られたら用心して下さい。スリがよく使う手ですから、また酒によいつふれた人に親切そうにかいほうすると見せかけて懐中物を失敬する手口も持っています。

大金を持ち運ぶときは銀行などで大金をおろすときは必らず二人以上で行くこと、持ち運びは歩きや自転車は大変危険なので自動車を利用しましょう。大金はいつでもねらわれていると思って用心をおこたらないようにしたいものです。

商店での盗難対策

建物の裏側や横手の出入口、窓などはとかくなおざりになりがちです。夜間の強盗犯人はそういうところをねらいます。よく点検して戸じまりを厳重にしましょう。昼間でもあやしい者が店内に入って来たら、すすんで用件を聞くなど先手を打って、犯罪のスキを与えないことが肝要です。万一強盗が押入ったときはあわてず非常ベルを押すか、速やかに必要な連絡をとる訓練をして置くことが必要でしょう。

以上のようなことはわかりきったことですかその場になると、ついゆだんが出たり、あわてたりするものです。時節がら充分気を引きしめて、年末年始を楽しく過すように心がけましょう。

中小企業等の退職金制度加入の奨め

中小企業退職金共済制度、建設業退職金共済制度は、中小企業主、建設業主がこの制度に加入し掛金を払い込むことによって従業員、期間雇用建設労務者の退職金を中小企業退職金共済事業団、建設業退職金共済組合が支払う制度です。

一、加入できる範囲
中小企業では常傭従業員三百人以下の事業所、建設業では大企業主から一人親方までの総べての建設業主

二、掛金とその払込み
中小企業では一人当り一ケ月百円～二千円で事業主負担で払いこみ、建設業では一人一日二十円の証紙貼付による。

三、退職金
中小企業では十二ケ月未満、建設業では三ケ年分（一ケ月二十一日とする）未満に対しては掛けすてになりますが、それ以上長期になるほど有利になります

四、制度の特典
掛金の損金繰入れ、福祉施設及び還元融資など有利な特典があります。

なお詳細は県労政課、労政事務所、町村役場、商工会にお問合せ下さい。